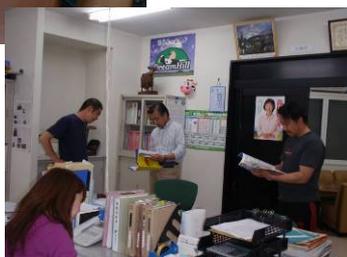


有限会社 ドリームヒル

■ 大きな夢を実現し、未来の酪農をめざす大型法人



〈法人の概要〉

所在地: 〒080-1406 上士幌町字居辺東 7 線 277 番地

代表者: 代表取締役 小椋幸男

構成員: 4 名(構成農家 4 戸)

役員: 4 名 常時雇用者: 25 名

設立: 平成 15 年 1 月 資本金: 400 万円

事業内容: 酪農

牧草 400ha、デントコーン 250ha 経産牛 1,350 頭、育成牛 400 頭、年間生乳生産量 13,000t(H22 年)

経営面積: 650ha

売上高: 13 億 1,378 万円(H22 年)

電話: 01564-9-2055 FAX: 01564-9-2077

URL: <http://www.dreamhill.co.jp>

E-mail: staff@dreamhill.co.jp

〈法人のあゆみ〉

- | | |
|---------|--|
| 平成 15 年 | 有限会社ドリームヒルを設立(構成員 4 戸)
パーラー舎、管理棟、フリーストール牛舎 3 棟、バンカーサイロなどの施設整備 |
| 16 年 | フリーストール牛舎を建設 |
| 17 年 | 育成舎、管理・分娩舎 3 棟を建設 |
| 19 年 | たい肥舎を建設 |
| 20 年 | バンカーサイロ 12 基、飼料調整庫を建設 |

〈設立の経緯・設立後の状況〉

- ・同じ地区の同年代の酪農家 4 戸は、それぞれの個別経営の先行きに不安を抱えていた。将来の自身の年齢的なことや、後継者の問題(3 戸は後継者不在)による労働力の不安に加えて、施設の老朽化も進んでおり、離農の 2 文字が頭に浮かんでいた。
- ・平成 13 年頃、4 戸がお互いの悩みを打ち明けられるようになった。数年後に離農するのか、それとも一緒になって酪農経営を継続していくのかを、将来のことを話し合った。乳製品の輸入自由化や乳価の低迷、个体販売の不振等の厳しい酪農環境に対応するには、規模拡大による経営の効率化と生産性の向上をめざすべきとの考えが一致し、法人経営の必要性を感じていた。
- ・こうした中、平成 14 年 1 月に朝日地区が大雪に見舞われ、酪農施設に大きな被害を受けた。これをきっかけに、4 戸による協業法人の設立・運営を目指そうと準備を進めることとなった。同年 2 月には、大型経営の 3 法人の視察を皮切りに、北海道農業会議の「農業生産法人設立研修会」の受講、町や農協を含めた設立発起人会の設立から、法人設立に係るさまざまな課題、「施設機械の規模、補助事業の活用、資金・土地・労働力の確保、既存借入金の償還方法」など、大きな夢の実現のための一つ一つクリアしていった。
- ・法人化を思い立ってから 10 ヶ月後の平成 15 年 1 月に 4 戸の酪農家による協業法人「有限会社ドリームヒル」を設立。道内ナンバーワンの出荷乳量(1 万t)を目標にしてスタート。また、地域の遊休地解消や雇用の創出、農業生産の維持など、地域の核となる会社を目指した。
- ・設立年には、パーラー舎やフリーストール牛舎などの搾乳に関する最新の施設整備を手始めに、毎年、施設の充実・整備を実施していった。

〈法人経営で生じた課題と対応策〉

- ・運転資金と資金繰りについては、資金融資や助成制度の面で、農協、町に相談して対応した。
- ・法人経営を安定・発展させるためには、何よりも人材育成が重要と痛感し、民間の人材育成会社に従業員や役員を派遣し、モチベーション研修会等に参加させている。また、従業員の家畜人工受精師の免許取得のための財政支援も行っている。

〈法人経営のメリット・デメリット〉

- ・地域の離農跡地のスムーズな利用集積が実現できた。
- ・従業員を採用するなど地域に新たな雇用創出の場を提供できた。
- ・外部から優秀な人材(役員)の登用が可能となった。

〈法人が継続するためのポイント〉

- ・会社にとっては、人は財産であり、人材育成には投資することが重要である。
- ・安定した従業員確保が、農場運営の安定化につながる。
- ・役員は、従業員の先頭に立って働くこと。
- ・笑いの絶えない職場づくりが必要である。
- ・従業員の中からリーダーを育てあげること。

〈これから法人化を目指す農業者へのメッセージ〉

- ・資金調達に関しては、十分な準備が必要。構成員の既存債務の引き受けなども含めると貸付限度の制約もあるので資金計画をきちっと立てること。
- ・合意形成には十分な時間をかける。法人移行後のマイナス面も理解してもらうことが大切です。
- ・構成員自身が変わらなければ会社として成り立たない。
- ・役員が率先して仕事に取り組むことが、指導力につながっていく。

〈特徴的な活動や取り組み〉

- ・人は財産との考えから従業員に研修会などを受講させるなど人材育成に力を注いでいる。
- ・法人化した以上、優秀な人材を登用する考えから、世襲は関係ないと割り切って、外部の人を後継者として想定している。
- ・人が来る働きやすい環境整備に取り組んでいる。

【労働条件や福利厚生の実施】

勤務: 8時間(3シフト制)、4週6休制、有給休暇あり
給与: 月16万円以上、賞与2回、時間外等各種手当
社会保険: 雇用・労働・健康保険、年金など完備
住宅: 従業員宿舎3棟完備(家賃1万円/月)など

〈経営目標と将来の展望〉

- ・経営の安定化には、人材確保が重要と考えているので、引き続き、人材を受け入れる体制や環境整備に取り組んでいく。
- ・農場が幹線道路やナイタイ高原に近いなど、立地条件の良いところに位置しているので、将来、グリーンツーリズムや加工なども手がけてみたい。ただし今は、まず法人の経営体力をつけたい。

〈視察の受入〉

詳細については要相談。

連絡先: 01564-9-2055 (担当: 代表取締役 小椋幸男)